

鎌倉極楽寺 浜田頓坊 一廿辛都々逸 ほんほんのラビ-172

《一日一首で楽しい人生記録の数々》

◇詠んでみなされ 一日一首

気になることやら 楽・落語

◇噺家の巧い真向 すること実は

会話楽しむ 先導者(名人芸)

◇あっそうか 「老いては『好き』にしたがえ！」

たゞさ なるほど 片岡鶴太郎

◇自然界 「水かさ増すとき 魚がアリの
水が引いたら 蟻・魚」

◇竹製の パイプ・オルガン フィリピン・マニラ
今も賛美歌 演奏か

《夏の甲子園「KEIO」優勝いやあ見事お美事》

◇107年ぶり 慶応優勝
笑顔はじけた 爽やかさ

◇慶応高 監督哲学 魅惑の野球

熱い真夏の 甲子園

◇常識を 疑う癖つけ 自ら思考

行動するのが 呼ぶ勝利

◇森林(もりばやし) 監督指導は 自ら思考

する癖役立ち 価値を生む

◇その昔 早実王さん 決勝戦の

相手(高知市商・応援) 田長 わか実弟

(たつた)

◇百日紅(さるすべり) 凌霄花(のうせんかから)

の賑やかな赤 真夏にかんかん 咲き誇る